

学校だより

平成22年 3月23日

第12号

(文責：今井敏雄)

卒業おめでとうございます

そして1年間ありがとうございました

早いもので、いよいよ明日は卒業式です。6年生50名は、思い出を胸に大田小学校を巣立っていきます。そして、翌25日は修了式。今年度の学習のすべてが終わります。

この1年間、6年生は常にこの学校の最上級生として、下級生の見本となる姿(あこがれの存在)となるよう頑張ってきました。4月にこんな決意をしていた6年生がいました。(「6年学級だより」より)

ぼくは、最高学年になって、5年生のころのように頼る人がいなくなったので、今度ぼくたち新6年生が大田小学校の看板になって、全校を引っ張っていきけるように頑張りたいです。そのために、毎日見本となるように、ふざけたりせずに、みんなが規則を守る学校になるように頑張りたいです。

(中略)そして、地域の人や、研究会のときに来た先生などに、「大田小学校の子はすごい!」と、もっと言われるように頑張りたいです。

同じ気持ちで、6年生の皆さんはこの1年間を過ごしてきたのではないのでしょうか。6年生の姿は、大田小学校で6年間過ごしてきた集大成の姿です。運動会や郡水、学習発表会など、そこで見せてくれた姿はいつも下級生からあこがれの姿でした。もちろん、その陰には先生から厳しく叱られ指導を受けたこともあったでしょう。でも、いつもその指導を糧に、一步一步成長をしてきた1年だったと思います。

今、卒業式の練習で「揚げば尊し」を歌っています。私は、この歌を歌うとなぜか涙が出そうになります。数年前になって、歌詞の意味を勘違いしていたことに気付かされました。『思えばいととし...』の、「とし」は「疾(と)し」で、『思えばとてもはやかった』という意味。『今こそわかれめ』は、『今こそ別れよう』の意味。『わするるまぞなき』は、『忘れる間もない(くらい早い)』の意味。

そんな意味がわかってくると、この歌を歌いながら6年生の顔を見ていると、もっと胸がジーンとしてきます。6年生の門出を祝って、明日は一人一人の顔をしっかりと見ながら卒業証書を手渡そうと思います。卒業生に幸多かれ!

保護者の皆さま、この1年間ありがとうございました。新型インフルエンザによる多くの行事の中止や変更など、ご迷惑をおかけしたことも多々あったことと思います。

来年は、いよいよ大田小学校最後の年になります。なお一層素晴らしい学校、素晴らしい子どもたちになるよう、努力してまいります。引き続きよろしくお願ひいたします。

ありがとう6年生 6年生を送る会

3月10日(水)に、6年生を送る会がありました。「最高の思い出にしようぜ」と、この企画や準備をしたのは5年生です。少しでも6年生に喜んでもらいたい、楽しい思い出をつくってもらいたいという思いをもって、何日も前から準備をしてきました。フレンド班ごとに校内を回りながらゲームをして、全校で楽しい時間を過ごしました。



心を一つにとべるかな G o m と び

堂々と司会・説明をする5年生の姿も立派でした。卒業する6年生のあとを受け継いで、5年生には大田小学校の伝統の最後の1ページを作ってほしいと期待しているところです。

堂々と司会・説明をする5年生の姿も立派でした。卒業する6年生のあとを受け継いで、5年生には大田小学校の伝統の最後の1ページを作ってほしいと期待しているところです。



6年生のみなさん ありがとう!



きせきをおこせるかな
レインボーリング